

分科会評価結果

＜上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等＞

本事業は、多年にわたり社会の発展に貢献してきた高齢者に対し、感謝や敬老の意を表すとともに、その長寿を祝福し、高齢者福祉の増進を図るため、祝金や祝品等を支給するものである。

この事業により、高齢者の健康増進の意識の向上や市民の高齢者に対する敬愛精神の普及啓発だけでなく、訪問等により100歳以上の高齢者の所在確認もできるなど、事業の必要性が認められるため、継続とした。

しかしながら、90歳の方に対する「祝福」が祝金の口座振込であることや101歳以上の方の「祝福」が祝品の配送で行われていることから、長寿に対する祝福の意がより効果的に伝わる方法に改善するよう検討すること。

また、敬愛精神の更なる普及のためにも、他の世代や地域住民との交流を図れる事業内容に改善するよう検討すること。